



「ながおか革新的成長宣言」 企業15社への伴走支援を開始



長岡市は、地域経済を牽引する成長企業の創出を図るため、国の「100億宣言」に準じた本市独自の「ながおか革新的成長宣言」制度を令和8年度に創設しました。本制度は、市内企業の事業承継について議論する場として、税理士などの専門家や商工会議所、金融機関といった支援機関で構成される「ながおか事業承継応援ワーキング会議」で提言されたもので、令和8年3月30日に記者発表を行い、初年度20社を目指して、募集してきたところです。これまでに15社の市内企業から宣言いただき、今も複数の企業が宣言に向けて準備を進めています。宣言された企業のうち9社の新事業支援を開始したほか、成長志向経営者向け支援プログラムを開始します。

11月のミライエ長岡フルオープンに向け、リーディング事業となるよう、事業承継応援ワーキング会議メンバーとともに、宣言企業の成長を後押しします。

1 ながおか革新的成長宣言について

本制度は、「売上高30億円」または、「現状の1.5倍以上の売上高」を目標として掲げ、その実現に向けた取り組みを宣言する制度です。

宣言企業に対して、研究開発や販路開拓などの補助金制度の優遇策をはじめ、ミライエ長岡イノベーションサロンや市HPでの情報発信、専門家による講義や100億宣言企業、上場企業など、成長志向企業との交流を通じて、宣言企業の目標達成を支援します。

(1) 宣言企業：15社（8月19日時点）

製造業（8社）、卸売業（4社）、小売業（1社）、建築・建設業（2社）

(2) 宣言企業の目標売上高総額：約245億円

ながおか革新的成長宣言企業と、中小企業庁による売上高100億円を目指す100億宣言企業の一覧は別紙のとおり。宣言企業の宣言内容は市ホームページ参照

<https://www.city.nagaoka.niigata.jp/sangyou/cate05/innovative-list.html>



令和8年3月30日記者発表の様子

2 イノベーション加速化補助金による支援

宣言企業に対する優遇策として、技術高度化とデジタル技術活用支援の「イノベーション加速化補助金」の補助率1/2を3/4に、補助上限額200万円を300万円に引き上げ。

現在、宣言企業のうち9社が制度を活用して技術の高度化に取り組んでいます。

(取組事例)

- ・従来に比べ、小型で安価な大学や研究機関向け製品の開発
- ・独立していたシステムをAPI連携で繋ぐインターフェースの開発

3 成長志向経営者向け支援プログラムによる支援

経営者が成長ビジョンを描き、そのための投資、人材戦略、組織づくり、M&A、販路開拓などを具体化させる全3回の経営者育成・ネットワーク形成プログラムです。令和7年度に関東経済産業局が実施した「100億円を本気で目指すゼミナール」で評価の高かった株式会社タナベコンサルティングを講師に迎えて開催します。

- (1) 参加定員 40人
- (2) 開催日時 令和8年8月24日(月) 14:00~17:30
- (3) 開催場所 ミライエ長岡西館 5階 イノベーションサロン
- (4) 内 容 第1部 講演会(14:00~15:45)
 - ・「成長志向企業創出に向けた施策の方向性」
講師：経済産業省関東経済産業局 地域企業支援室
 - ・「1・3・5の成長戦略」
講師：株式会社タナベコンサルティング
取締役 仲宗根 政則 氏

第2部 交流会(16:00~17:30)

- ・プログラム：参加企業からの自己紹介および宣言内容紹介
- ・参加者：第1部講師、ながおか革新的成長宣言企業、100億宣言企業、上場企業等、支援機関 など
- ・参加費：一人2,000円

4 今後の展開

今後も「ながおか革新的成長宣言」を起点として、企業が挑戦し続けられる環境づくりを推進します。企業の成長が雇用や投資の拡大につながる好循環を生み出し、長岡の持続的な発展と競争力強化につなげていくため、ミライエ長岡に集結する支援機関と連携した以下の取り組みを予定しています。

- ・ミライエ長岡を宣言企業にとって日常的なサロンにする仕組みづくりを検討
- ・成長志向経営者向け支援プログラムの第2回を10月下旬、第3回を1月下旬に開催
- ・宣言企業や100億宣言企業などによる経営者ネットワーク交流会の開催
- ・宣言企業の成長戦略に合わせた人材確保イベントの検討
- ・大学のシーズと企業のニーズを繋ぐ産学連携AIマッチングシステムの優先利用
- ・資金調達や販路開拓など商工会議所や金融機関等と連携した伴走支援を実施

【問い合わせ：産業支援課 早川 電話0258-39-2222】